

基本方針 3 子どもと家庭を育むまちづくり

社会全体で子どもと家庭の成長を支えるため、市民・企業・大学などの多様な支援の担い手が参加するとともに、子育て支援の気運の醸成を図る「子育てプロモーション」を推進し、子育てしやすいまちづくりを進めます。

- 11 地域で支えあう子育てのまちづくりの推進 P76
- 12 子育てプロモーションの推進 P80
- 13 子育て支援に関わる地域人材の育成 P84

地域で支えあう子育てのまちづくりの推進

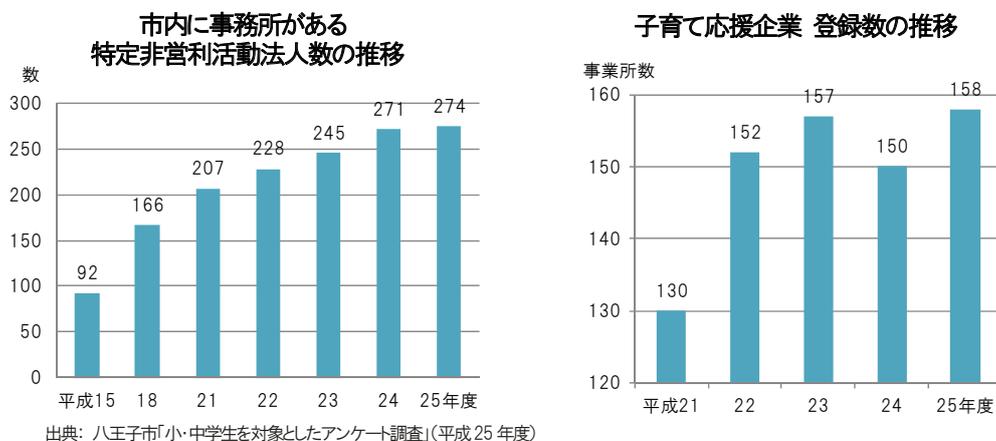
めざす姿

市民・企業・大学がつながりながら、地域全体が子どもの育成や子育て支援に参加し、その活動の輪が様々な場所に広がっています。市全体で、次代を担う子どもたちの健やかな育ちを応援し、子育ての喜びや楽しさが実感できるまちづくりが推進されています。

現状と課題

- ・本市の子ども・子育て支援は、市民活動団体・ボランティア・民間企業・大学など、多彩な担い手により支えられています。子育てひろばの運営や子育て応援企業による取り組み、地域における青少年健全育成団体や子育てグループの活動など、市民が積極的に参加しています。
- ・学園都市である本市において、各大学の特徴を活かして、学生が主体的に関わる子ども向けの体験事業が様々行われており、地域がフィールドワークの場として活用されることが、子どもの育成にもつながっています。多くの学生が子どもの育ちについて関心を持つことにより、地域の活性化と次世代育成への発展が期待できます。
- ・本市では、平成 19 年度から親子向けサービスの提供や子育て分野における地域貢献、仕事と子育ての両立支援に取り組む企業を「子育て応援企業」として登録しています。現在、90 団体 162 事業所が登録し、企業の特徴を活かした取り組みがされています。企業が地域社会に及ぼす好影響や企業が持つ社会資源は豊富であることから、子ども・子育て支援の大きな力として期待されます。
- ・様々な市民活動団体や企業、大学がつながり、より一層地域連携を推進していくために、地域の公立施設の役割の強化が求められています。児童館においては、児童館地域連絡会などにより、地域で子どもを育てていくためのネットワークづくりを行ってきました。

データ



関連計画

文化振興計画・行政と市民活動団体との協働のあり方に関する基本方針・地域福祉計画

施策 32 子育て支援に関わる市民活動団体への支援の充実

- ・子育て支援に関わる市民活動団体の取り組みを、子育て中の親や子どもに対して情報発信していきます。
- ・子どもや子育てを応援する取り組みを行っている市民活動団体の活動について、市民活動支援センターと連携しながら、団体同士の情報交換会の実施や関連機関とのネットワークづくりを進めるなど、活動の活性化を図るための支援を充実していきます。

【主な取り組み】

- **子育て支援に関わる市民活動団体への支援の充実** 市民活動団体の子育て支援活動について、市民への情報提供を行うとともに、団体相互のネットワークづくりなどにより、活動のさらなる活性化に向けた支援を行います。



はちおうじっ子のすくすく 地域が応援

市内には、子どもの成長や子育てを応援する様々な市民活動団体がたくさんあります。地域の子どもは地域で育てる。豊かな地域活動が、八王子の子どもたちの健やかな「すくすく」につながっています。

NPO法人 八王子子ども劇場 JOYCCO(ジョイッコ)

「子どもと大人が、文化の力でともに育ち合う」をコンセプトに、演劇・人形劇・音楽などの様々なジャンルの活動を親子で企画し、体験できる機会をつくっている市民活動団体です。

活動の特色は、大人がすべて運営するのではなく、子どもも企画から関わること。

また、身近に文化・芸術とふれあえる「ふれあいこどもまつり」の開催や、地域での絵本の読み聞かせ活動など、子ども・文化・地域を結びながら、38年という長い間活動を続けています。



「NPO法人八王子子ども劇場 JOYCCO」代表 浅野 理恵子さんからのメッセージ

すべての子どもたちの輝きこそが、私たちの希望です。

舞台鑑賞やワークショップ、あそびなどの体験が、子どもの感性を育み、「生きる力」となります。

八王子子ども劇場では、学校・年齢・地域を超えた子どもの交流を大切にしながら、子ども自らがイベントを企画することで、自主性や社会性を育てています。大人たちも、子どもを見守るとともに企画・運営に関わり、共に創り合っています。



NPO法人 ポケットパーク

「まちの空き地を公園に！」「公園を楽しみでいっぱい！」を合言葉に、まちの有志が集まりました。

まちの未利用地や駐車場を活用して、子どもや大人が集まり楽しめる、1日限定のポケットパークが登場。

人工芝の上で赤ちゃんがハイハイしたり、竹で作ったオブジェで子どもが音を奏でたり、地域の人が農家とふれあえる直売マルシェがあったり・・・見慣れた空き地が、子どもからおじいちゃん、おばあちゃんも楽しめる空間へと早変わり。子どもと家族がたくさんの人とふれあえる、小さなコミュニティづくりに取り組んでいます。

「NPO法人 ポケットパーク」代表 保 清人さんからのメッセージ

都市の中心は、子どもや大人が集まるコミュニティスペースが足りません。空いている場所(ポケット)を公園に見立てれば、みんなが楽しめるまちづくりのはじまり。

からっぽのポケットに、みんなで育ててつくり上げる”楽しみ”をいっぱい詰めたい！

そんな思いで日々活動を行っています。

JOIN US and GROW WITH US for your better city!

ともにつくる 八王子のミライへ！



施策 33 企業・大学の参加による地域の子育て支援の充実

- ・「八王子市子育て応援企業」など、子ども・子育て支援の取り組みを行っている民間企業同士のネットワークづくりや関係機関との連携を進め、地域の子ども・子育て支援の充実を図ります。
- ・企業ならではの多様な子ども・子育て支援の取り組みを、子育て中の市民がさらに活用できるよう PR を充実していくとともに、地域全体でその活動を評価する取り組みを進めていきます。
- ・本市の特色である学園都市を活かし、教育や保育を学ぶ学生の実習の場の提供や、子どもとの関わりから未来の親としてのイメージを持つ機会の提供など、多くの学生に子どもの育ちについて関心を持ってもらうための取り組みを進めます。
- ・夏休みなどに大学が行う子ども向け体験事業について、情報発信を行っていきます。また、大学コンソーシアム八王子と連携しながら、大学の機能を活かし、本市の子ども・子育て支援環境を充実していきます。

【主な取り組み】

- **子育て応援企業の活動支援** 子育て応援企業のネットワークづくりなどにより、活動を支援するとともに、市民への広報を充実します。
- **大学との連携による子ども・子育て支援の充実** 学生インターンシップやボランティアの受け入れを充実します。また、大学による子ども向け体験事業について、情報発信を行います。

その他の取り組み：大学や企業、市民活動団体など、多様な立場との連携や協働の推進／夏休み子どもいちょう塾の充実

【指標】

施策	指標	内容	現状値	29年度	31年度
33	子育て応援企業の登録数（再掲）	子育て応援企業の登録事業所数の拡充	162事業所	185事業所	200事業所

よくよく★コラム

子どもたちの輝く瞳、大学が応援！

学園都市といわれる本市には、その周辺部も含め、23の大学などがあります。それぞれ大学の特徴を活かして、子どもたちの好奇心を引き出し、その育ちを応援する取り組みを行っています。

工学院大学「わくわくサイエンス祭 科学教室」

工学院大学では、毎年8月に「わくわくサイエンス祭 科学教室」を開催。20年以上の歴史があり、毎年多くの子どもたちが楽しみにしています。

水を燃料として走る車の実験や紫キャベツに色素を加え「色の変化を見てみよう」など、そのテーマは70近くも。「サイエンスコミュニケーター」となる学生から指導を受け、真剣に慎重に実験する子どもたち。自分で実験し、その不思議な変化を体感することを通して、わくわくときめく科学の魅力にドロンとなっていきます。実際、この感動がきっかけとなり、研究者や技術者になった子どもも少なくありません。

2日間で8,000人を超える親子が来場するこのイベント。住民や市民活動団体も運営に参加し、地域一丸となって子どもたちの科学教育を支えています。先生となる学生も、生徒となる子どもたちも、地域の中で大きく成長する夏休みです。



多摩美術大学こども講座「あそびじゅつ」

多摩美術大学で行われているこども講座「あそびじゅつ」では、子どもたちが身のまわりの世界にやわらかにふれあう「まなざし」を育てています。

今の子どもに必要なことは、自分であそびを見つけ、じっくり考えたり、失敗したりできる「ゆったりとした時間」。スタジオには、木や石、布などの身のまわりにある素材が用意されます。「ガラスをつなげて光とあそぼう」「旗をつくって、風とあそぼせよう」など様々なテーマで、素材をじっくり見て、ふれて、発想がふくらんで自分なりの物語をつくって…。大人がやらせたいことではなく、子どもが自ら「問い」を生み出し、楽しみを見つけていく——その「まなざし」は、子どもの世界を広げ、日常を豊かに生きることに繋がっていきます。

この15年間で、延べ20,000人を超える子どもたちが参加しました。成長し、子どもをサポートする側として関わる学生もいるそうです。子どものこころにまかれた種が、時空を超えて芽を出していく。そのはじまりの場づくりが行われています。



施策 34 地域をつなげる子育て拠点づくりの推進

・地域社会全体で子育てを支えていくため、子ども家庭支援センターや児童館、保育園、子育てひろばなど、地域の子育て支援拠点がコーディネーターとなり、市民活動団体・企業・大学・社会福祉協議会などのつながりと交流を支援し、一層の地域福祉を推進していきます。

【主な取り組み】

- **子育て支援施設を中心とした地域連携の推進** 地域の子育て支援施設が中心となって、多様な立場の参画と連携を進めます。



私のまちの子育て応援企業

「八王子市子育て応援企業」は、子育て中のママやパパを応援し、子どもの成長をやさしく見守る企業です。市が一定の要件のもと、認定を行っています。

目印は、四葉のクローバーに家族の笑顔がまつた右のマーク。平成27年3月現在、市内の90団体162事業所が登録しています。

子育て応援企業では、企業の特徴を生かして、次の3つの分野で子ども・子育て支援に協力しています。

- 親子向けのサービスや親子で立ち寄りやすいお店づくり
- 子育てしやすい職場環境づくり
- 子育て分野での地域貢献

ここで、その取り組みの一例をご紹介します。



子育て応援企業
シンボルマーク

はしもと小児科では、「お母さん・お父さんが、地域の中でひとりぼっちにならないで、元気に子育てができるように」との思いから、日々の子育てに役立つ「看護師さんと一緒に学ぶ勉強会」を開催しています。テーマは、予防接種やアレルギ一・発達のことから、夏は日焼け、冬はインフルエンザなど、季節に合わせたものまであり、毎回多くの方が参加しています。普段、病院ではじっくり聞けない子どもの健康についての相談や子育ての学びの機会となっており、「初めての子育てで不安を感じていたが、相談先ができたので、安心して子育てができる」「予備知識があることで、毎日の子育てが少し楽になった」と喜ばれています。

また、赤ちゃんのいる家庭への無料の訪問相談も行っています。「ひとりの育児は不安…」 「母乳の量は足りているのかしら？」など、子育ての悩みを抱えた家庭に看護師が訪問し、子どもをお風呂に入れたり、離乳食をあげるなど、実際に一緒にやってみることで、お母さん・お父さんの子育て力を支え、長い目で地域の親子の健やかな暮らしを支えています。

はしもと小児科 小児科医 橋本 政樹さんからのメッセージ

ひとりだけで、育児を頑張らないで。
子どもの笑顔に癒され、ぐずりにイライラ、お熱にハラハラ。それでいいんです。
そして、もっと周りを巻き込んでください。
たくさんほめて、しっかり抱きしめて。
みんながあなたと子どもたちの味方です。

子育て応援企業の中には、他にも地域の親子へのやさしいまなざしで、地域に根差した取り組みを行っている企業がたくさんあります。今後、市では、企業による子育て支援の取り組みの情報を、様々な機会に発信していきます。

このまちに、四葉のマークが増えていき、子育て中のみなさんにやさしさを届けられますように。

基本方針3 子どもと家庭を育むまちづくり 子育てプロモーションの推進

めざす姿

「子育てプロモーション」活動を通じて、子どもや子育て支援に関する地域の情報や取り組みがつながり、親子と地域の様々な人との出会い・交流によって、地域活動が活性化しています。まちへの愛着が生まれ、このまちで子育てしたい、住み続けたいという気運が醸成されています。

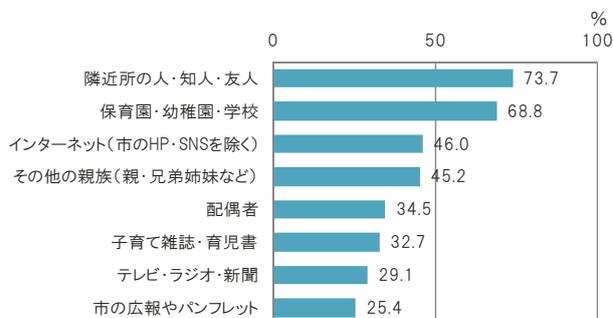
子どもの成長が、私たちの未来に関わる大切なこととして、すべての人が関心を持ち、子育てを応援することが地域にとっても豊かな営みとなっています。

現状と課題

- ・子育て世帯に「本市で子育てしたい」「住みたい・住み続けたい」と感じてもらうためには、本市の「子育てしやすいまち」「子どもにやさしいまち」の実現に向けた取り組みや魅力ある子育て情報を積極的に発信し、プロモーション活動をしていくことが重要です。
- ・市民アンケートによると、「子育てについての情報がほしい」という意見が少なくありません。子育てガイドブックや子育てメールマガジンの配信、各事業の積極的な周知など、今後さらに、子ども・子育てに関する情報提供を充実するとともに、子育て世帯のニーズに合わせた情報発信を工夫していく必要があります。
- ・地域に充実してきた市民活動や企業などによる、様々な子ども・子育てを応援する取り組みについても積極的に発信し、本市らしい子どもの成長や子育てを楽しむための情報発信を展開していくことが重要です。
- ・市民や企業・大学などの様々な立場の人々がゆるやかにつながり、地域社会がみんなで子育て支援に参加していくムーブメントとなるような、フォーラムの開催などのきっかけづくりを行っていくことが大切です。
- ・本市の持続可能な発展に向けて、子育て世帯の定住や流入、年少人口や生産年齢人口の増加を図るため、自治体のシティプロモーション活動の推進が求められています。このような活動を通じて、既婚・未婚、子どもがいる・いないにかかわらず、世代を超えたすべての人が、子どもの成長を未来に関わる重要なこととして捉え、子どもに関心を持ち、子育てに関わる喜びを共有していくことが重要です。

データ

子育て情報の入手方法（複数回答・上位8位）



子育てに関する情報について不足していると感じる手段や媒体

- ・気軽に時間のある時に情報入手できるメールなど。
- ・年齢や月齢に合わせた子育てに関する知識や情報の定期的な配信。
- ・スーパーなど気軽に立ち寄れるところでの情報入手。
- ・学校と地域を結んだイベントや、情報交換の機会を提供してほしい。
- ・小学生になってから子育てに関する情報はあまり入ってこないように感じる。
- ・アピール不足のため、どんなサービスがあるのかわからない。

出典：八王子市「就学前児童の保護者を対象としたアンケート調査」(平成25年度)

関連計画

文化振興計画・地域情報化計画・地域福祉計画

施策 35 地域をつなげる子育て情報の発信

- ・豊かな自然や社会資源、市民力を活かした本市ならではの子育てしやすいまちづくりを進め、その活動を発信していくことで、「八王子の子育て、いいね！」というメッセージを市内外に広げながら、地域をつないでいきます。
- ・子育てモバイルサイトの開設やメールマガジンの配信など、時代に即した情報発信を行うとともに、ビジュアルやメッセージ性、即時性といった、今までの発信手段と異なる特徴を持つ SNS の活用により、若い子育て世帯が、共感ができ、身近に感じられる情報発信に取り組みます。また、地域の子ども・子育てを支援している民間の持つ情報も含め、発信していきます。
- ・市内で実施している様々なイベントなどの地域資源に、「子どもが笑顔になる」「親子で参加しやすく楽しい」という視点を取り入れ、発信していきます。

【主な取り組み】

- **子育て情報モバイルサイトの運営**
 ● **子育てメールマガジンの配信** モバイルサイト「はち☆ベビ」*を開設し、妊娠期から幼児期までの子どもの成長に沿った利便性の高い情報提供を行います。また、産前・産後期の子育てをサポートするメールマガジン「すくすく☆メール」を配信します。
- **SNSによる情報発信の充実** フェイスブックなど SNS の活用により、若い子育て世帯が身近に感じられる情報発信を行います
- **オープンデータを活用した子育て情報の充実** 子ども・子育てに関するデータをウェブ上で公開し、子育てアプリの開発など、民間による子育て支援の参加を促します。

その他の取り組み：ホームページのリニューアル／子育てガイドブックの充実／子育てタウン情報の発信の充実

【指標】

施策	指標	内容	現状値	29年度	31年度
35	子育て情報モバイルサイト「はち☆ベビ」登録者数の割合	妊婦や3歳未満の乳幼児を持つ保護者の子育て情報モバイルサイトへの登録の促進	—	50%	60%
	子育てメールマガジン「すくすく☆メール」登録者数の割合(再掲)	妊婦や3歳未満の乳幼児を持つ保護者のメールマガジン登録の促進	—	40%	50%



地域をつなぐ オープンデータ

「オープンデータ」とは、その名の通り、これまで行政が保有している公共データを誰もが自由に利活用できるように公開し、市民や企業が、新たな市民向けのサービスやビジネスに活用することで、市民生活の向上や地域の活性化につなげていくものです。

これまでに、様々な自治体がオープンデータの公開を行っており、防災・観光・医療・子育てといった分野で活用されています。

オープンデータの可能性は、子ども・子育てに関わるサービスの開発や情報発信だけではなくありません。

たとえば、オープンデータを活用して、子育て世帯が今必要としている携帯アプリケーションを、住民参加型で考えてみる。こういった活動を通じて、ママ・パパとIT事業者とのつながりができ、直接子どもや子育てに関わっていない人たちも子育て支援に参加することができます。

地域がつながり、課題やデータ・技術の共有によって、子育て家族の「あったらいいな」というサービスを実現していく。「子育てしやすいまちづくり」を進める新たなツールとして、期待されています。

施策 36 子育てを楽しむ気運の醸成

- ・子どもや子育てに関する地域活動をつなげて活性化していくために、市民や企業・大学などが実際に集い、めざす姿を共有し、参加・活動・協力するきっかけとなるようなフォーラムを開催していきます。
- ・市民活動団体や企業、大学、市民などの多様な担い手による、子育てを応援するイベントの実施や情報発信を支援し、親や地域が一体となって、子育てを喜び、楽しみながら子育てを支えあう環境づくりを推進します。
- ・八王子で成長する子どもたちが、ふるさとを愛し、誇りを持って育ててほしいという思いから制作した本市のオリジナルダンスソング「ぼくらの八王子」を、子どもたちの活動や地域の行事などの様々な場所や機会でも普及啓発していきます。

【主な取り組み】

- 子ども・子育てフォーラム開催 子育て家庭や子育て応援団がつながるきっかけとなるフォーラムの開催により、地域社会全体で子育て支援に取り組む気運を醸成します。
- 「ぼくらの八王子」普及・啓発 本市の子ども・子育てを応援する「ぼくらの八王子」の普及・啓発により、子どもの育成や子育てを楽しむ気運を醸成します。また、子どもたちが「ぼくらの八王子」を歌い踊ることのできる場を充実します。

その他の取り組み：市民や企業、大学など、多様な立場からの子ども・子育て支援への参画・協働の推進／
家族の日(11月第3日曜日)・家族の週間の普及・啓発

【指標】

施策	指標	内容	現状値	29年度	31年度
36	子ども・子育てフォーラム開催	地域社会全体で子育て支援に取り組む気運を醸成するきっかけとなるフォーラムを開催	—	実施	実施

3636 ★コラム

♪ ぼくらの八王子 ♪

「ぼくらの八王子」(ぼくはち)は、八王子で成長する子どもたちが、このまちをもっと好きになり、誇りを持って育ててほしいという思いが込められた、歌って踊れる八王子市オリジナルダンスソングです。

明るく楽しく元気になる歌で、市内の幼稚園・保育園・小学校や地域のお祭りで、子どもたちがこの曲で踊っている姿を見ることができます。

「ぼくはち」は、市内在住の創作あそび作家・たにぞう(谷口國博)さんが曲と歌、振り付けを担当し、作詞は八王子市出身のグループ、ファンキー・モンキー・ベイビーズ(平成25年解散)が担当しました。

八王子観光大使も務めたファンキー・モンキー・ベイビーズは、「高尾山」「八王子まつり」「富士森公園」などの八王子になじみの深い言葉をちりばめ、歌詞を書き上げました。(歌詞は、最終ページに掲載)

市民の方々も「ぼくはち応援団」として、様々な場所で「ぼくはち」を広げる活動を行い、盛り上げています。



たにぞうファミリーコンサートにて



たにぞう(谷口 國博)さんからのメッセージ

まちの人たちがつながっているって、ステキなことだと思います。いろんな世代の人たちが、八王子に愛着を持って、ひとつになってほしい。そんなオモイをこめて、「ぼくらの八王子」を作曲しました。

八王子の応援ソングとして、子どもたちだけでなく、大人も一緒に歌って踊ってつながっていきましょう。

子どもの笑顔はかけがえのない宝物。子どもの成長ってすばらしい。

パパもママも元気な子どもたちに負けないよう、何かに挑戦して輝いてほしいと願っています。

すくすく★コラム

はちおうじの子育てっていいね！



八王子で子育てをしていることが誇らしく、うれしくなるような一日をつくりたい。

そんな想いを持った地元ママたちが企画し、平成26年10月に、子育てを応援するお店や企業、大学が八王子駅前に集結し、「ファミリーフェス in はちおうじ みんなのキャンパス」を開催しました。



市内の幼稚園や保育園などの子どもたちが手づくりした秋色のガーランドの下、子どもたちがわくわくするたくさんのワークショップ、親子にやさしいセレクトショップなど子育てが楽しくなるお店や知恵の紹介、チェロなどのライブステージなどにより、たくさんの親子が笑顔に…。

地域がつながる楽しいファミリーイベント、
八王子でもっと増えるといいですね。



♪ 「みんなのキャンパス実行委員会」代表 西室 真希さんからのメッセージ

みんなそれぞれ、人生という名の大きなキャンパスを持っていて、新しい出会いや発見、うれしい・楽しいことがある度に、どんどん彩り豊かになっていきます。

ママやファミリーが、新しい色を発見する楽しい場につくれないだろうかという想いがこのフェスのスタートです。それぞれの彩りを認め合い、人と人、お店、考え方、地域が交わり・つながれる場をこれからもつくっていきたいと思います。

子育て支援に関わる地域人材の育成

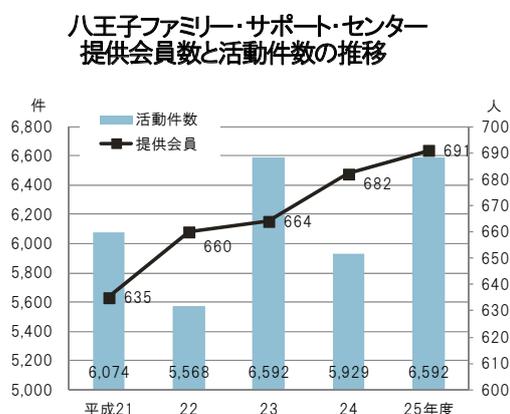
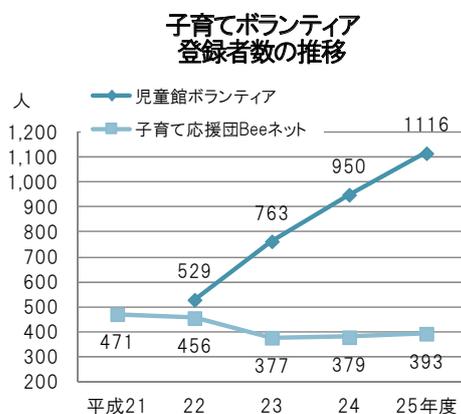
めざす姿

地域の支援者が、子どもの成長を喜びながら子どもや子育てをサポートし、親同士が、お互いに支えあい学びあえる環境が整っています。地域の中で、子育てを通じて人と人とのつながりや支援の輪が広がり、親自身が次代の子育て支援の担い手となる好循環が生まれています。

現状と課題

- ・子どもや家庭を取り巻く環境が大きく変化する中、地域全体で保護者の気持ちを受け止め、支えることにより、子育ての負担感や孤立感を和らげることが大切です。様々な経験や思いを活かし、やさしい視点で子どもや子育てをサポートする子育て支援の担い手の育成が望まれています。
- ・定年を迎えた人々の地域で過ごす時間が増える中、子育て支援を通じた地域貢献を希望する人も少なくなく、その豊かな経験を活かすことが期待されています。
- ・本市の「親子つどいの広場」などを運営する市民活動団体は、自らの子育て経験を活かし、寄り添い、親としての成長を促す相談支援を行っています。また、地域では、親子の見守りや相談者として、民生・児童委員が活動しています。こうした親の気持ちに寄り添う身近な支援者の育成支援に、今後も取り組んでいくことが重要です。
- ・本市のファミリー・サポート・センターでは、育児の支援を行うことのできる提供会員の登録が600名を超え、年間6,000件を超えるサポート活動を行っています。地域に支えられながら子育てをし、その後、子育てが一段落したときには地域の子育てを支援する側になるなど、自らの子育て経験を次の世代に活かせるよう、地域福祉を推進していく必要があります。
- ・親子の抱える問題は様々で、複雑化しています。支援者のスキルや子育て支援の制度や施設に対する幅広い知識、子どもの安全や育ちに関する知識など、子育て支援に必要な知識や技術の向上による、地域の子育て支援の質の確保が求められています。

データ



関連計画

地域福祉計画

施策の方向性

施策 37 子育てボランティアへの支援の充実

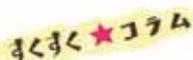
- ・地域への貢献を希望する市民や学生が地域活動に参加するきっかけづくりとなるよう、ボランティア活動についての情報提供を行い、身近な場所で子どもや子育て家庭を応援するボランティアへの参加を推進していきます。
- ・児童館における大学生ボランティアの育成など、長期的な視点で活動に関わり、主体的にボランティアが活動できる環境づくりに取り組んでいきます。
- ・子育てひろばや児童館・保育園の活動、子育てサークルにおける行事のサポートなど、様々な活動についての情報提供やコーディネート機能を強化し、ボランティアの活動の場を広げていきます。

【主な取り組み】

- **子育てボランティアへの参加促進** 様々な市民がボランティア活動に参加するきっかけづくりとして、地域の子ども・子育て支援ボランティア活動についての情報提供を充実します。
- **子育てボランティアの育成・活動支援** 子どもや親との関わり方についての勉強会や自主的な企画の支援など、ボランティアがやりがいを持って活動できるような環境づくりを行います。また、活動の場を広げるために、情報提供の充実やコーディネート機能を強化します。

【指標】

施策	指標	内容	現状値	29年度	31年度
37	子育て応援団Beeネットの登録者数	子育てボランティアの周知による登録者増加と活動支援の充実	441人	480人	516人
	児童館ボランティアの登録者数		987人	1,196人	1,276人



子どもの笑顔 みんなで育てる

地域の子どもや子育てを支える大きな力となっている市民活動団体。市内には、子ども・子育て支援に関係する100を超える多くの団体が活動しています。その組織形態は、NPO 法人に限らず、法人格を持たない任意団体など様々です。

その活動の活性化に重要な役割を果たしているのが、中間支援組織と呼ばれる「NPO法人 八王子市民活動協議会」です。ボランティア、市民活動団体など営利を目的としない組織と行政、企業などとの間に立って、人やモノ、情報などの地域資源を上手に活用するための「つなぐ」をお手伝いしたり、活発な市民活動ができるように「学ぶ」場をつくりたり…。地域の「パイプ役」となって、これまでたくさんの人と人、人と地域とを結び付けてきました。

本市の市民活動の広がりや、縁の下の力持ちとして支えています。

地域の住人がお互いに協力して地域の課題解決に取り組むことで、社会全体での子育てにつながり、また活動する人自身の幸福度が高まり、このまちが好きになる。

みんなで育てる みんなが育つ はちおうじ。

それぞれの団体が持つ、地域を知り尽くしたノウハウやネットワーク、このまちを愛する人々ならではの「想い」の輪がつながり、大きな「地域の力」が育っています。

「NPO法人 八王子市民活動協議会」理事長 石井 利一さんからのメッセージ

八王子には、多くの市民活動団体があり、みなさんそれぞれ想いを持って活動されています。

当団体は、市民活動団体のレベルアップや相互連携に向けた支援とともに、これから活動を始めようとする方への支援を通じて、八王子の市民活動が活性化し、ひいては子どもが健やかに育つ地域づくりにつながるよう活動していきます。

施策 38 子育て支援に関わる人材育成の充実

- ・子育てひろば従事者や民生・児童委員などの子育て支援者が、対人支援のスキルや地域の子育て支援の資源に関する幅広い知識、子どもの安全や育ちに関する知識など、子育て支援に必要な専門的な知識や技術の向上を図るための研修を充実していきます。
- ・周囲の支援者と連携しながら子どもの育ちを支え、子育てのノウハウを保護者に提供していくため、連携の機会の充実や関係機関とのネットワークづくりを進めます。
- ・住民参加型のサービスの拡充や担い手の育成により、子育てしやすい環境づくりへの市民参加を促進していきます。

【主な取り組み】

- **子育て支援に関わる研修やネットワークの充実** 子育て支援者を対象に、相談対応や制度・施設に関する知識や子どもの育ちなどについての研修を充実します。また、子育て支援者のネットワークづくりを進めます。
- **ファミリー・サポート・センターの講習会の充実** 知識の修得や保育環境の充実を図るため、提供会員や登録希望者を対象とした講習会を実施します。
- **住民参加型のサービスの拡充** 地域住民が子育て支援サービスの担い手となる地域福祉を推進します。

その他の取り組み：社会福祉協議会が実施する地域福祉活動への支援

施策	指標	内容	現状値	29年度	31年度
38	ファミリー・サポート・センター提供会員数	保育などの育児支援を行う提供会員の拡充	691人	731人	751人

よくよく★コラム

みんなで育てる みんなが育つ はちおうじ
～ 子ども・子育てを応援するボランティアさん ～

ママやパパを応援し、子どもが大好き。
地域の中で、そういったあたたかな想いで子どもや子育てを応援する市民や大学生のみなさんが、はちおうじっ子の成長や子育てを支えています。

「子育て応援団Beeネット」は、主に子育てひろばや子育てサークルの活動を応援している市民の方々です。

その活動は、ひろばでの見守りや楽しい親子の手遊び、紙芝居や人形劇の上演、サークルの季節の行事のお手伝いなど様々です。

子育てひろばにくるママ・パパの中には、八王子に転入してきた人も少なくなく、また第一子のママはちよっぴり緊張気味にやってきました。

Beeネットのみなさんが子どもにやさしく声をかけ、「手遊び上手にできたね～」とほめてあげることで、ぐずっていた子どもにこにこと笑顔に。また、ママへのちよつとした声かけや手助けが、安心につながっています。



クリスマス会のプレゼントを製作中



児童館での大学生会議の様子

児童館では、地域の方々や大学生による「児童館ボランティア」のみなさんが、「おばけやしき」「ゲーム大会」など、子どもが自主的に企画する事業に協力しています。ボランティアさんからは、アイデア満載の遊びの提案も。

また、本市の児童館の特色は、大学生ボランティアの活発な活動です。学生が長期的な視点で児童館活動に関わり、主体的に活動できるように、演劇やバンド発表など学生の自主企画事業のサポートや、子どもとの関わり方についてのアドバイスなどを行っています。

この活動は、大学生にとっては、子どもへの理解が深まる貴重な学生生活となり、中高生にとっては、憧れの先輩との出会いから自分の将来を考えるきっかけにもなっています。

児童館でバンド活動をしていた中高生が大学生となり、今度は子どもたちの活動をサポートするというサイクルも生まれています。

赤ちゃんの頃から絵本にふれる楽しさを知ってほしいと活動している「読み聞かせボランティア」のみなさんは、親子が3か月健診に訪れた際に、絵本の読み聞かせやわらべうたの実演をしています。

じつ〜と見つめる子、手足をバタバタさせて喜ぶ子など、子どもの反応は様々。小さくても、絵本の世界が分かるんですね。ボランティアさんとしても、ママ・パパの応援ができることや赤ちゃんからもらうエネルギーにやりがいを感じているようです。

また、小さな子どもも楽しめる図書館での「おはなし会」では、絵本だけでなく、昔話の読み聞かせや紙芝居も。テレビにはない楽しさに、子どもたちは夢中になってくれます。



3か月健診での絵本の読み聞かせ